

平成25年第1回八千代町議会定例会会議録（第2号）

平成25年3月7日（木曜日）午前9時02分開議

本日の出席議員

議長（9番）	水垣 正弘君	副議長（8番）	大久保 武君
1番	国府田利明君	2番	大里 岳史君
3番	廣瀬 賢一君	4番	上野 政男君
5番	中山 勝三君	6番	生井 和巳君
7番	相沢 政信君	11番	小島 由久君
12番	宮本 直志君	13番	大久保敏夫君
14番	湯本 直君		

本日の欠席議員

なし

説明のため出席をしたる者

町 長	大久保 司君	副 町 長	生井 光男君
教 育 長	高橋 昇君	会 計 管 理 者	小竹 貞男君
秘 書 課 長	風見 好信君	総 務 課 長	飯島 英男君
企画財政課長	斉藤 実君	税 務 課 長	青木 良夫君
町 民 課 長	横島 広司君	福祉保健課長	生井 勝巳君
生活環境課長	岡田 昭夫君	産業振興課長	浜名 進君
都市建設課長	上野 真一君	上下水道課長	幸田 裕之君
農 業 委 員 会 事 務 局 長	秋葉三佐男君	教 育 次 長 兼 学 校 教 育 課 長	水書 正義君
公 民 館 長 兼 生 涯 学 習 課 長	鈴木 一男君	給食センター 所 長	片平 博君
総 務 課 参 事	鈴木 忠君	企 画 財 政 課 参 事	青木 喜栄君

議会事務局の出席者

議会事務局長	埴 陽一	主 査	小林 由実
--------	------	-----	-------

主 任 外山 勝也

議長（水垣正弘君） 引き続きご参集をくださいませ、まことにありがとうございます。

ただいまの出席議員数は13名であります。よって、定足数に達しておりますので、これから本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

（議長が了承を求めた議事日程は次のとおり）

議 事 日 程 （第2号）

平成25年3月7日（木）午前9時開議

- 日程第1 議案第23号 平成25年度八千代町一般会計予算
議案第24号 平成25年度八千代町国民健康保険特別会計予算
議案第25号 平成25年度八千代町後期高齢者医療特別会計予算
議案第26号 平成25年度八千代町介護保険特別会計予算
議案第27号 平成25年度八千代中央土地区画整理事業特別会計予算
議案第28号 平成25年度八千代町農業集落排水事業特別会計予算
議案第29号 平成25年度八千代町下水道事業特別会計予算
議案第30号 平成25年度八千代町水道事業会計予算

（提案理由の説明）

（関係課長の概要説明）

（質疑、各常任委員会付託）

日程第2 休会の特

- 日程第1 議案第23号 平成25年度八千代町一般会計予算
議案第24号 平成25年度八千代町国民健康保険特別会計予算
議案第25号 平成25年度八千代町後期高齢者医療特別会計予算
議案第26号 平成25年度八千代町介護保険特別会計予算
議案第27号 平成25年度八千代中央土地区画整理事業特別会計予算

議案第28号 平成25年度八千代町農業集落排水事業特別会計予算

議案第29号 平成25年度八千代町下水道事業特別会計予算

議案第30号 平成25年度八千代町水道事業会計予算

議長（水垣正弘君） 日程第1、議案第23号 平成25年度八千代町一般会計予算、議案第24号 平成25年度八千代町国民健康保険特別会計予算、議案第25号 平成25年度八千代町後期高齢者医療特別会計予算、議案第26号 平成25年度八千代町介護保険特別会計予算、議案第27号 平成25年度八千代中央土地地区画整理事業特別会計予算、議案第28号 平成25年度八千代町農業集落排水事業特別会計予算、議案第29号 平成25年度八千代町下水道事業特別会計予算、議案第30号 平成25年度八千代町水道事業会計予算、以上8件を一括議題といたします。

朗読を省略して、提案理由の説明を求めます。

町長。

（町長 大久保 司君登壇）

町長（大久保 司君） ただいま一括上程されました議案第23号 平成25年度八千代町一般会計予算、議案第24号 平成25年度八千代町国民健康保険特別会計予算、議案第25号 平成25年度八千代町後期高齢者医療特別会計予算、議案第26号 平成25年度八千代町介護保険特別会計予算、議案第27号 平成25年度八千代中央土地地区画整理事業特別会計予算、議案第28号 平成25年度八千代町農業集落排水事業特別会計予算、議案第29号 平成25年度八千代町下水道事業特別会計予算、議案第30号 平成25年度八千代町水道事業会計予算の提案理由をご説明申し上げます。

最初に、平成25年度町政運営方針を述べたいと思います。

ここに平成25年第1回八千代町議会定例会の開会に当たり、町政を担う責任者として、町政運営に関する所信の一端とこれらを具体化する施策の概要について申し述べます。議員各位を初め、町民の皆様のご理解、ご協力を賜りたいと思います。

昨年を振り返ってみますと、世界経済はリーマンショック以降の景気低迷が続き、ヨーロッパの通貨危機、アメリカの財政緊縮、中国の景気拡大の鈍化など依然として予断を許さない状況にあります。我が国においては、昨年12月、民主党から自民党へと政権交代し、大胆な金融・財政政策、いわゆるアベノミクスによる経済政策で景気は上向きになっているものの、いまだに大きな負債を抱えており、東日本大震災からの復旧・復興、原発事故問題の解決など多くの課題を残しております。

このように本町を取り巻く環境は、厳しいものがありまして、私はこれからも、町民の皆様と手を携えて、誰もが健やかに安心して暮らせる町を目指して、町営運営に取り組んでまいります。

それでは、新年度を迎えるに当たり、改めて私の考えを述べさせていただきます。

今、我が国の経済は、政権交代を契機に円安が進行する兆しが見え始め、また、4年ぶりに国債発行額が税収を下回る見通しではありますが、依然としてデフレが長期化しており、さらにヨーロッパを初めとする経済不安等が続いております。

また、県においても、地方交付税が大幅に縮減され、一般財源がこの9年間で2,000億円を超える金額が減少し、さらには景気低迷による税収の落ち込み等により、依然として危機的な状況が見込まれます。

本町においても、大幅な一般財源が減少する一方、公債費や医療・福祉関係経費が増加していることなどから、引き続き厳しい財政運営となっております。

このような厳しい状況を乗り切るため、町の指針として示した「八千代町第4次行政改革大綱」及び「八千代町第2次行財政集中改革プラン」の趣旨に沿い、全庁総力を挙げて、歳入歳出の両面から思い切った見直しを行ってまいります。

本町に隣接する古河名崎工業団地に、日野自動車の進出が決まり、昨年5月に操業を開始しました。今後も本町の地理的な優位性を生かして日野自動車関連企業等の誘致を図り、雇用の創出と税収の確保を目指してまいります。

全国的な人口減少や少子高齢化の急速な進行、長期的な景気低迷による地方財政の悪化など、社会経済状況が大きく変化する中、町民と行政の協働による自立したまちづくりを積極的に進めていくため、町民と行政のパートナーシップのもと「人・地域ともに輝く 協働のまち 八千代」を目指し、八千代町第5次総合計画の着実な推進を図ってまいります。

平成25年度の主要な施策につきましては、第5次総合計画に掲げた事業について、投資効果、緊急度等を勘案し、限られた財源の配分に努めたところであります。主要な施策について、第5次総合計画の施策体系に基づいて、順次申し上げます。

主な施策の第1は、健康・福祉の充実であります。

誰もが、住みなれた地域で、生涯にわたって健やかに、生きがいを持って、安心して暮らすことのできる町を目指してまいります。

健康で元気なまちづくりについては、町民誰もが生涯にわたり健康で元気に暮らすこ

とができるよう、町民一人一人がみずから取り組む健康づくり活動を支援してまいります。

疾病の早期予防や早期発見、感染予防も図ってまいります。なお、平成25年度も子宮頸がん予防接種、肺炎球菌予防接種、ヒブ予防接種に対する補助を引き続き行ってまいります。

町民誰もが身近な地域で適切な医療が受けられますよう、病院・診療所・その他保健医療機関の連携強化を進め、診療体制の充実を図ってまいります。

次世代を担う子どもを守り、育むまちづくりについては、安心して子どもを産み育てることができるよう、町民のさまざまな事情やニーズに応えていく環境を整えながら、関係機関や地域社会と一体となって子育て支援を推進してまいります。平成25年度には、みどりが丘保育園及びひかり幼稚園の園舎建てかえについても補助してまいります。

みんなで支えるやすらぎのまちづくりについては、町民誰もが、住みなれた地域の一員として、ふれあいを通して、生涯安心して暮らし続けることができるよう、ともに支え合う地域福祉まちづくりを推進してまいります。

高齢者が心身ともに健康で、いきいきと自立して人生を送れますよう、介護予防や介護する家族の支援、生きがい対策など、きめ細かな福祉の体制づくりに取り組んでまいります。平成25年度は、特別養護老人ホーム錦荘の建てかえについて補助してまいります。

障がい者が安心していきいきとした生活が送れるよう、自立を支援してまいり、また一人一人のニーズに合った質の高い介護サービスや介護予防サービスを提供してまいります。

安定した生活のできるまちづくりについては、社会保障制度への理解を深めるとともに、国民健康保険制度、後期高齢者医療制度、国民年金制度、介護保険制度、医療福祉制度、生活保護制度の適切な運用に努めてまいります。特に子どもの医療福祉制度につきましては、平成25年度秋口より小学校6年生まで対象を拡大いたします。

主な施策の第2は、生活環境・都市基盤の整備であります。

誇れる豊かな自然環境と共生し、安全・快適に暮らすことができる町を目指してまいります。

安心・安全に暮らせるまちづくりについては、火災等の災害から町民を守り、安心・安全な暮らしを確保できるよう、消防力の強化、救急業務の高度化を図り、災害の未然

防止や被害の軽減とともに防災施設・体制の強化に努めてまいります。平成25年度には、消防ポンプ車1台の更新及び老朽化した消防詰所2カ所を新築いたします。

自然豊かな住みよいまちづくりについては、町民の憩い・ふれあいの場としての役割はもとより、防災機能を兼ね備えた安心・安全な空間を確保するため、既存公園の維持管理に努め、有効活用を図ってまいります。

今後、公共の福祉を優先に自然環境の保全を図りながら、合理的・計画的に秩序ある土地利用を推進してまいります。特に、市街化区域では、住居系は土地区画整理事業による良好な整備、非住居系では、新たな工業系用地の確保を目指してまいります。

土地区画整理事業を早期に完成させ、人口の定着を図るため、定住対策や都市住民との移住・交流につなげてまいります。

快適で便利に暮らせるまちづくりについては、将来の世代へ継承できる快適な環境づくりの実現に向けて、住民主導によるごみの減量化、リサイクルの推進など、循環型社会の形成に努めてまいります。

また、平成25年度も引き続き自然エネルギーの積極的活用を図り、地球温暖化防止及び環境保全意識を高揚するため、太陽光発電システム導入に対しても補助してまいります。

道路の整備については、計画的な交通ネットワークの確保とともに、一級町道2号線や8号線を初めとする幹線道路は、地方道路計画に基づき計画的に整備し、一般町道についても維持補修、排水整備に努めてまいります。

広域的ネットワークである国道125号のバイパス化、鬼怒川ふれあい道路の整備について、引き続き国・県等の関係機関に要請してまいります。

筑西幹線道路につきましては、平成25年度も継続して事業に取り組んでまいります。

町民の生活に欠かせない水の安定供給については、計画的で効率のよい上水道事業の運営に努めてまいります。

また、町民の理解と協力のもと、引き続き鬼怒小貝流域下水道事業や公共下水道事業の整備促進、合併処理浄化槽の普及、農業集落排水事業に取り組むとともに、施設の適切な維持管理に努めてまいります。

主な施策の第3は、教育と文化の振興であります。

町や地域を学び、誇りと愛着を持って、まちづくりに意欲的に取り組む人々を育む町を目指してまいります。

未来を担う八千代の人づくりについては、子どもたちが、地域に愛着を持ち、心身ともにたくましく育み、学ぶことができるよう、教育内容のさらなる充実を図ってまいります。

健全に、安心して学ぶことができるよう学校と地域一丸となって取り組んでまいります。平成25年度には、八千代第一中学校校舎の建築工事に着手し、安心安全な教育環境の充実に努めてまいります。

生きがいのある文化的なまちづくりについては、町民誰もが、生涯を通じ学習のできる体制の整備充実を図るとともに、社会教育活動の充実により、生きがいのあるまちづくりを推進してまいります。

公民館や図書館が社会教育、地域づくりの拠点としての中心的な役割を果たし、文化の薫りが高く、明るく住みよい、誇れる個性のある地域づくりに貢献できますよう、利用しやすい施設づくりや事業内容の充実を図ってまいります。

さらに、文化協会とともに、町民が芸術・文化に触れる機会をより一層拡充し、郷土に根差した芸術・文化の継承と振興に努めてまいります。また、先人の築いた歴史・文化を後世に伝えるため、長期的展望に立った文化財の保護・保存・活用を図ってまいります。

健やかでたくましい人づくりについては、地域や家庭が連携し教育力を高め、青少年が心身ともに健康で人間性豊かに成長できますよう、町・地域ぐるみで健全育成の環境・体制づくりを推進してまいります。

町民が生涯にわたり、スポーツ・レクリエーション活動に気軽に参加でき、一人一人に合った健康づくりや体力向上に取り組むことができますよう、関係機関との連携のもとに施設の整備・充実や組織・指導体制の充実を図ってまいります。

主な施策の第4は、産業の振興であります。

基幹産業である農業を軸に、工業、商業、観光などさまざまな分野の交流や連携を促し、にぎわいと活力のある町を目指してまいります。

活力と将来性に満ちた農業の振興については、環境に配慮した持続的な農業経営の確立による安全で新鮮な農作物の供給のため、生産者と行政の連携を高め、生産・流通体制の充実を図るとともに、地場農産物・加工特産品のブランド化やPRを推進してまいります。平成25年度には、昨年愛称が決定した白菜キャラクター「八菜丸（はなまる）」を中心とした、キムチ鍋・白菜メンチカツなどのブランド化を目指し、引き続きPRす

ることで町の活性化を図ってまいります。

担い手や農業法人等の経営を支援するとともに、就農希望者に対する受け入れ体制の強化を図るなど、後継者の育成に努めてまいります。

営農体系の確立と経営の近代化を促進するため、耕地の集団化、大型機械化、作業体系化による営農の省力化、農地や用排水路等、農業生産基盤の整備を総合的に推進するとともに、湛水被害を未然に防ぎ、農地の保全や活用を推進してまいります。

農業基盤の整備は、中結城地区の県営畑地帯総合整備事業及び霞ヶ浦用水事業を推進し、農業用水の安定的な供給体制の確立を図り、ハウス等の施設農業を充実させ、安定した農業経営の実現に努めてまいります。

創造性あふれる商工業の振興については、商業では、個性的な店づくりや経営の高度化・近代化により、人々が集い、にぎわいのある商店街の形成を促進していくとともに、工業では、既存企業の技術力向上や事業拡張、事業高度化への支援に努めてまいります。

平成25年度には工場等の立地促進や雇用の確保を図るために策定された「固定資産税の課税免除制度」、並びに定住を促進するため、八千代中央土地区画整理地の保留地を購入し、住宅を建築した方に対して助成を行う「保留地住宅支援助成金制度」の推進を図ってまいります。

地域資源を生かした観光の振興については、新たな地域資源の発掘とともに自然環境に恵まれた八千代グリーンビレッジを中心とする、憩遊館や滞在型市民農園「クラインガルテン八千代」等の既存資源の現状把握、さらには観光マーケットニーズの把握をし、観光課題の整理分析をすることで、地域間交流、近隣市町との連携により、広域観光など交流の拡大による町のイメージアップと観光の振興を図ってまいります。

安心できる消費生活の実現については、町民の健全な消費生活の定着と安定に向けて、消費生活センターによる相談指導體制の充実を図るとともに、学習機会の拡充や啓発活動を通して被害の防止に努めてまいります。

主な施策の第5は、協働のまちづくりであります。

本町の特色ある地域コミュニティーや組織を生かし、発展させ、新たな自治をみんなで築いていく協働の町を目指してまいります。

みんなで進める協働のまちづくりについては、町民の自立と連携に支えられた、活力のあるまちづくりを進めるため、コミュニティー推進協議会活動を中心に、地域の連帯感を醸成し、主体性や創造性に富んだ地域活動を促進する環境づくりに努めてまいりま

す。

町民総参加による自主的かつ個性的な地域協働社会の実現のため、若者のバイタリティー、女性の豊かな発想、高齢者の豊富な知識と経験を存分に活用しながら、まちづくり活動への支援や協働のまちづくりを推進してまいります。

交流と思いやりのあるまちづくりについては、町民・職員とも人権問題に関する理解と認識を深め、一人一人が尊重され、心豊かにともに生きる平等で明るい社会の実現を目指し、学習・啓発活動を推進してまいります。

地域間交流や都市と農村の交流、国際交流など、多様な交流が活発に行われることにより、町民や訪れる人がいきいきとふれあい、暮らすことができる町の実現を目指してまいります。

情報化社会に対応したまちづくりについては、まちづくり情報等の共有化を通して、町政への町民参加等を促進していくため、個人情報保護のもと、情報公開制度の適切な運用を図るとともに、広報・広聴活動のさらなる充実を図ってまいります。

高度情報化に対応した情報通信基盤の整備を促進するとともに、各種業務システムの利活用を図りながら電子自治体の構築を推進し、行政サービスの向上に努めてまいります。平成25年度には、昨年町内全域に整備された光ファイバー通信網やリニューアルされた町公式ホームページを活用し、さらなる高度情報化を進めてまいります。

町民の視点に立った行財政運営の推進については、町民の多様なニーズに応え、適切かつ迅速な行政サービスを提供していくため、窓口サービスの向上や、行政体制・環境の改善など、町民の目線に立ったわかりやすく利用しやすい役場づくりを目指してまいります。

第2次行財政集中改革プランに基づき、計画的かつ効率的な行政運営と組織改革に努めるとともに、人材育成基本方針に基づき、職員の意欲と能力を最大限に引き出す取り組みを図り、優秀な人材の育成と定員の適正化を図ってまいります。

社会経済の変化と増大する行政需要に柔軟に対応できる安定的で持続可能な行財政運営を行うため、適切な財源の確保を図りながら、効率的かつ健全な財政運営を努めてまいります。

以上、町政運営に当たっての所信の一端を申し述べましたが、誰もが安心して暮らせる町を目指し、諸施策を推進してまいる所存であり、議員並びに町民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

続きまして、平成25年度予算の概要を申し上げます。

この予算につきましては、町政運営の基本及び施策の基本方針に基づいて編成したものであります。

最初に、議案第23号 平成25年度八千代町一般会計予算からご説明申し上げます。

平成25年度の一般会計予算総額は72億6,200万円となり、前年度と比較して4億1,100万円、6.0%の増となっております。

なお、八千代第一中学校校舎改築工事費につきましては、建設期間が2カ年にわたるため、継続費を設定したものであります。

予算の特徴を申しますと、歳入では、固定資産税においては、株式会社エフピコの工場増設等により約5%の増額を見込み、町税全体で前年当初比2.7%増と計上したこと。また、地方交付税については、国において6年ぶりの減額とされている中、過去の地方財政計画と町の実績を比較検討し、対前年当初比10.6%の大幅減で計上したこと。

さらに、財源不足及び復興まちづくり支援事業費交付金の対応として、義務教育施設整備基金と財政調整基金からの繰入金を2億5,500万円計上したことが挙げられます。

次に、歳出について申しますと、定員削減及び退職手当負担金等の減により人件費が6.9%減。扶助費については、保育所運営費委託料や障害者自立支援給付費、さらに医療福祉費の町単独分等の増により、全体で5.2%の増となっております。普通建築事業費の60.8%増の要因は、八千代第一中学校校舎改築工事、再生可能エネルギー導入促進事業、また復興まちづくり支援事業費交付金による消防詰所2カ所の建設工事、さらには消防ポンプ自動車1台の更新等によるものであります。また、繰出金では、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、下水道特別会計への繰り出しにより、全体で10.8%の増となっております。

今回の予算は、厳しい財政環境の中、「町財政改革大綱及び行財政集中改革プラン」の趣旨に沿い、前年度に引き続き全庁総力を挙げて事務事業等の見直しを図るとともに、限られた財源の重点的かつ効率的配分を基本として編成した次第であります。

以上が平成25年度八千代町一般会計予算の概要であります。詳細については、担当課長に補足説明させますので、よろしく願いいたします。

次に、議案第24号 平成25年度八千代町国民健康保険特別会計予算についてご説明申し上げます。

国民健康保険は、国民皆保険制度の成立とともに、長年、地域住民の医療の確保と健

康増進に寄与してきました。しかし、近年、急速な少子高齢化の進行や医療技術の高度化等により、医療費は年々増加傾向にあり、また、就業構造の変化、経済の減速など大きな環境の変化に直面していることから、国保財政は以前にも増して大変厳しい状況にあります。

こうした中、国においては「社会保障と税の一体改革」の中で実施する国保改革案が公表されていますが、新たに投入する公費については消費税引き上げが前提になっているなど、不透明な状況になっております。

以上のような状況を踏まえ、25年度の当初予算を編成しました。

それでは、当初予算の内容について申し上げます。

平成25年度の歳入歳出予算の総額は28億1,911万2,000円で、対前年度比3.03%、金額で8,300万6,000円の増となっております。

このほとんどが医療費に係るものとなっております。

歳入については、24年度と比較して、国庫支出金、療養給付費等交付金、県支出金、共同事業交付金、繰入金、繰越金、諸収入が増加し、それ以外の国保税、前期高齢者交付金では、減少しております。

歳出については、保険給付費が58.4%、後期高齢者支援金等17.1%、介護納付金が7.5%、共同事業拠出金14.4%、以上4項目で歳出全体の97%を占めております。

予算増額の主な要因といたしまして、総務費の一般管理費における人件費の新規計上及び保険給付費、共同事業拠出金等の増加によるものであります。

以上が平成25年度八千代町国民健康保険特別会計予算の概要であります。

なお、この予算につきましては、平成25年2月26日に八千代町国民健康保険運営協議会に諮り、ご了承いただいていることをご報告申し上げます。

次に、議案第25号 平成25年度八千代町後期高齢者医療特別会計予算についてご説明申し上げます。

後期高齢者の医療制度につきましては、平成20年4月1日から運用が開始され、6年目となりますが、現在国においては新たな制度改正に向け、検討がなされているところであります。

今後、保険料の改正など、県及び関係機関の動向を注視し、適切に対応をする必要があります。

平成25年度の予算編成に当たりまして、歳入といたしまして、保険料収入、一般会計

繰入金、保健事業委託金を計上いたしました。

次に、歳出については、検診実施に伴う委託料、広域連合への保険料等の納付金を計上いたしました。

以上により編成した総額は1億5,839万9,000円で、対前年度比4.4%、673万8,000円の増となっております。

この主な内容でございますが、まず歳入から申し上げますと、24年度と比較して繰入金が903万8,000円増加し、後期高齢者医療保険料では230万円減少しております。

また、歳出については、総務費で812万9,000円増加し、後期高齢者広域連合納付金が139万1,000円減少しております。

以上が平成25年度八千代町後期高齢者医療特別会計予算の概要であります。

次に、議案第26号 平成25年度八千代町介護保険特別会計予算についてご説明申し上げます。

八千代町の高齢化率は24.2%で、全国平均の23.0%と比較してやや高い状況にあります。今後ますます高齢化が進み、それに伴い介護の認定者数の増加が予想されます。介護状態等にならないよう介護予防施策が重要になってくることから、地域包括支援センターを中心にさらなる介護予防事業に取り組んでいくことが必須と思われま

す。平成25年度は、第5期計画の2年目に当たり計画に沿った予算編成をいたしました。

給付費を中心とした保険事業勘定予算と地域包括支援センターの運営による介護サービス事業勘定予算の2本立てによる予算でございます。

まず、保険事業勘定予算につきまして申し上げます。

平成25年度の介護保険特別会計の保険事業勘定予算は15億321万4,000円となり、前年度と比較いたしまして9,151万5,000円、6.5%の増となっております。

予算の内容を申しますと、歳入につきましては、介護保険料でございます。前年度と比較いたしまして1.6%の伸びを見込んでおります。国庫支出金、県支出金及び支払基金交付金につきましては、法定負担割合で計上してあります。また、一般会計繰入金につきましては、介護保険係職員の人件費を今まで一般会計で計上したものが、本年度より介護保険特別会計に計上してありますので、大きな伸びとなっております。

歳出につきましては、総務費が、先ほど申しましたとおり、職員の人件費を新たに計上してありますので、大きく伸びております。保険給付費は歳出全体の約94%を占めております。昨年度より4%の伸びを見ております。

以上が平成25年度八千代町介護保険特別会計、保険事業勘定の予算であります。

続きまして、介護サービス事業勘定予算についてご説明申し上げます。

平成25年度の介護保険特別会計介護サービス事業勘定予算は716万1,000円で、前年度と比較いたしまして91万1,000円、14.6%の増になっております。

予算の内容を申し上げますと、歳入については要介護度が要支援1と2の方に対する介護予防サービス計画収入であります。歳出につきましては、介護予防サービス計画策定を介護予防支援事業所に委託しております委託料であります。

以上が平成25年度八千代町介護保険特別会計予算の概要であります。

次に、議案第27号 平成25年度八千代中央土地区画整理事業特別会計予算についてご説明申し上げます。

八千代中央土地区画整理事業は、町の中心となる市街地の計画的な整備や都市計画道路の整備を図るため、平成元年11月20日に県知事の事業許可を受け、平成3年度から本格的な事業に着手し、その後平成11年度には施行区域を拡大して事業を進めているところであります。この間、地権者のご理解とご協力を得ながら家屋物件移転補償、都市計画道路や区画道路及び幹線排水路の築造工事、宅地の造成工事等を進めてまいりました。

昨年度は、都市計画道路・区画道路の築造工事、家屋物件移転補償等を実施いたしました。なお、平成24年度最終予算の事業費ベースによる進捗率は地区全体で78.1%となっております。

本年度は、前年度に引き続き保留地の販売を積極的に進めていくとともに、家屋物件の調査、都市計画道路・区画道路の築造工事及び家屋物件移転補償等を実施してまいります。

以上により編成されました予算総額は3億422万円、対前年度約115%増となっております。

以上が平成25年八千代中央土地区画整理事業特別会計予算の概要であります。

次に、議案第28号 平成25年度八千代町農業集落排水事業特別会計予算についてご説明申し上げます。

農業集落排水事業につきましては、関係各位のご尽力を賜り順調に進捗してまいりました。現在まで12カ所の処理施設が供用開始をしております。

農業集落排水処理施設の維持管理につきましても、現在町が直接行っており、これからも受益者の生活に支障がないよう、処理施設の維持管理に当たってまいります。

また、平成24年度から補助事業の採択を受けている中結城東部地区については、全体実施設計、用地購入及び補償等の事業が完了し、平成25年度から管路施設工事を実施してまいります。

以上により編成されました予算総額は、7億8,789万5,000円で対前年度243.5%となっております。

その内容を歳入から申し上げますと、分担金及び負担金5,215万2,000円、使用料及び手数料6,509万8,000円、国庫支出金2億3,300万円、県支出金1,785万5,000円、財産収入2,000円、繰入金1億3,657万2,000円、繰越金200万円、諸収入31万6,000円、町債2億8,090万円となり、次に歳出について申し上げます。農業集落排水事業費6億5,829万5,000円、公債費1億2,760万円、予備費200万円となっております。

以上が平成25年度八千代町農業集落排水事業特別会計の概要であります。

次に、議案第29号 平成25年度八千代町下水道事業特別会計予算についてご説明申し上げます。

下水道は私たちが安全で快適な生活をしていく上で必要不可欠な施設であり、公共用水域の水質汚染防止と生活環境の改善を進めるため、八千代町第5次総合計画の中でも「緑豊かで、安全・快適な生活環境のまちづくり」を推進する上で、町の重要課題の一つとして位置づけ、整備を進めてまいります。

下水道が整備されたところにつきましては、逐次供用を開始しており、平成24年度までのその面積は仁江戸地区、東原地区、若地区のほぼ全域と八千代中央地区、落田地区及び東落田地区の一部を合わせて約145.24ヘクタールとなります。本年度におきましても八千代中央地区、落田地区、東落田地区の一部で約5.74ヘクタールの供用開始を予定しております。

本年度の下水道事業であります。前年度に引き続き八千代中央地区、落田地区及び東落田地区の污水管布設工事等を行い、供用開始区域の拡大に努めてまいります。

以上により編成しました予算総額は、歳入歳出それぞれ3億8,048万8,000円であり、対前年度約6.8%の増となっております。

この内容を歳入から申しますと、分担金及び負担金859万1,000円、使用料及び手数料1,721万2,000円、国庫支出金5,180万円、財産収入1,000円、繰入金2億1,488万3,000円、繰越金100万円、諸収入1,000円、町債8,700万円となり、歳出について申しますと、下水道総務費6,008万6,000円、下水道管理費4,547万7,000円、公共下水道事業費1億1,151万

8,000円、流域下水道事業費497万4,000円、基金費1,000円、公債費1億5,743万2,000円、予備費100万円となり、以上が平成25年度八千代町下水道事業特別会計予算の概要であります。

次に、議案第30号 平成25年度八千代町水道事業会計予算についてご説明申し上げます。

水道事業につきましては、安心して利用できる生活水の確保と清浄な飲料水の供給を目指し、町民の皆様により健康で快適な生活を送っていただくため、事業を推進しております。

昭和60年に一部給水を開始して以来、四半世紀余りが経過し、施設や機器の経年劣化が進んでおりますので、引き続き定期的な保守点検、計画的な修繕や更新工事を行い、安定的な水道水の供給に努めてまいります。

平成25年度は水道事業としての経営の安定化を図るため、町水道への加入促進及び自家井戸からの切りかえ等を推進し、収益の拡大に努めるとともに、26年度の新地方公営企業会計制度への移行に向けて、電算システムの改修や会計基準の見直し等の作業を進めてまいります。

平成25年度の予算編成にあっては、国・県の動向を基調に、町の予算編成方針を踏まえ、収益の拡大と経費の節減抑制を図ることを目的に編成したものであります。

初めに、営業業務の概要を申しますと、給水戸数5,654戸、年間総給水量144万9,947立方メートル、1日平均給水量が3,972立方メートルであります。

続いて、予算の内容について申し上げます。

まず、3条予算の収益的収入及び支出であります。収入総額を4億1,054万9,000円、支出総額を3億7,879万6,000円とします。

収入の内訳は、営業収益3億9,943万1,000円、営業外収益が1,111万8,000円。

支出の内訳は、営業費用が3億4,494万2,000円、営業外費用が1,885万4,000円、予備費が1,500万円であり、主な事業を申しますと、2号取水井二重ケーシング工事、低圧主幹盤内機器修繕工事等であります。

なお、支出の中には、企業債支払利息808万5,000円が含まれております。

次に、4条予算の資本的支出であります。支出総額を1億6,492万8,000円とし、資本的収入が資本的支出に対して不足する額が1億6,492万8,000円は、当年度分損益勘定留保資金、減債積立金により補填してまいります。

支出の内訳は、建設改良費1,734万1,000円、企業債償還金1億4,758万7,000円であり
ます。

主な事業を申し上げますと、配水管布設工事、次亜タンク更新工事、3号取水井ポン
プ更新工事等であります。

今後も引き続き、加入者の理解と協力を得て収益の拡大に努めながら、独立採算に沿
うよう効率的な経営を推進してまいります。

以上、一括上程されました各会計の予算について、提案理由を申し上げましたが、詳
細については、担当課長に補足説明させますので、慎重にご審議の上原案にご賛同くだ
さいますようお願い申し上げます、説明といたします。

議長（水垣正弘君） 暫時休憩をいたします。

（午前 9時58分）

議長（水垣正弘君） 休憩前に戻り、会議を再開いたします。

（午前10時12分）

議長（水垣正弘君） これより予算概要について関係課長等からの説明を求めます。

初めに、議案第23号の予算概要について、企画財政課長の説明を求めます。

斉藤企画財政課長。

（企画財政課長 斉藤 実君登壇）

企画財政課長（斉藤 実君） それでは、最初に平成25年度一般会計予算の概要を説明
申し上げます。

平成25年度一般会計予算総額につきましては、72億6,200万円といたしました。前年度
と比較いたしますと6.0%の増となっております。

また、八千代第一中学校校舎改築並びに解体事業につきましては、建設期間が2カ年
にわたるため、継続費を設定するものでございます。

では、本年度予算の特徴を申し上げます。歳入では、依然として長引く景気低迷によ
りまして、個人町民税の減収が見込まれるものの、固定資産税におきましてエフピコ株
式会社関東工場増設に伴いまして、約5%の増収を見込んでございます。

町税全体では、対前年度当初比2.7%の増で計上いたしたところでございます。

また、地方交付税につきましては、国において6年ぶりの減額とされる中、過去の地

方財政計画と当町の交付実績等を比較検討いたしまして、10.6%の大幅減で計上したところでございます。

国庫支出金につきましては、八千代第一中学校校舎改築事業や再生可能エネルギー導入促進事業等によりまして、対前年度当初比25.9%の増となっております。さらに、財源不足及び復興まちづくり支援事業交付金の対応としまして、義務教育施設整備基金並びに財政調整基金から2億5,500万円の繰入金を計上いたしました。

町債につきましても、八千代第一中学校校舎改築事業に伴います教育債等の増によりまして、対前年度当初比44.2%と大幅増で計上したところであります。

次に、歳出について申し上げますと、人件費につきましては、人員削減や退職手当負担金の減、さらには特別会計職員の当該会計予算への組みかえ等によりまして、6.9%の減となっております。

扶助費におきましては、保育所運営委託金、障害者自立支援給付費並びに医療福祉費の町単独分の増等によりまして、全体で5.2%の増となっております。

なお、普通建設事業費の対前年度当初比60.8%大幅増の要因につきましては、八千代第一中学校校舎改築事業、再生可能エネルギー導入促進事業、一級町道2号線、8号線改良事業及び町道1522号線、筑西幹線道路整備事業、さらに復興まちづくり支援事業交付金活用によります消防ポンプ車1台の更新、第4分団車となります。及び消防詰所2カ所の改築、第3分団、第5分団の詰所となります。防災行政無線屋外子局増設事業等によるものであります。

また、繰出金では、国民健康保険、介護保険、下水道事業特別会計の繰出金の増によりまして、全体で10.8%増となっているところであります。

今年度の予算におきましても厳しい財政環境の中、町行政改革大綱、行財政集中改革プランの趣旨に沿い、前年度に引き続きまして全庁総力を挙げて事務事業の見直しを図るとともに、限られた財源の重点的かつ効率的配分を基本とした編成をした次第であります。

では、一般会計予算書の10ページをお開きいただきたいと思います。

歳入歳出予算事項別明細書となっております。対前年度との比較がございますので、このページで歳入全般についての概要を説明を申し上げます。

最初に、歳入の主なものを説明申し上げます。まず、町税におきましては、本年度予算額23億1,950万5,000円で、昨年より6,100万7,000円の2.7%の増収となっているところ

であります。個人町民税では、長引く景気低迷に伴います所得減を勘案し、3.1%の減収を見込んだところであります。

また、固定資産税におきまして、エフピコ株式会社関東工場増設等に伴いまして、約5%の増及びたばこ税の市町村配分額が変更になりまして、約14%の増を見込んでおります。町税全体では対前年度当初比2.7%増で計上してございます。

次に、地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金につきましては、24年度決算見込み及び地方財政計画を勘案の上計上してございます。

続きまして、地方交付税におきましては、地方財政計画では24年度当初ベース、出口ベースでございますが、2.2%の減というようなことになってございますけれども、24年度の決算見込み、19億4,492万8,000円、さらには過去の地方財政計画と町の実績等を比較検討いたしまして、普通交付税及び特別交付税合わせまして17億5,594万4,000円、対前年度当初で比較しますと10.6%、2億826万8,000円減で計上してございます。

なお、基準財政需要額から振りかえ措置といたしまして、臨時財政対策債を24年度の決算額3億8,871万9,000円に対しまして0.7%、282万3,000円減額を見込みまして、3億8,589万6,000円を計上いたしました。

次に、分担金及び負担金につきましては、保育料徴収金等で7,890万9,000円を計上してございます。昨年度より約300万円の増収を見込んでございます。使用料及び手数料におきましては、保健衛生使用料、西山工業団地の水道使用料関係、並びに総務手数料、戸籍謄抄本等の窓口証明料などが主なものでございますけれども、3,085万5,000円を計上してございます。

次に、国庫支出金につきましては、本年度予算額7億8,089万1,000円で再生可能エネルギー導入促進事業補助金3,100万円、これは学校並びに公共施設への太陽光の発電設置あるいは公立学校施設整備負担金2,398万円及び学校施設環境改善交付金9,854万4,000円、この2点につきましては、八千代第一中学校への充当というようなこととなります。

さらに、社会資本整備総合交付金、一級町道8号線あるいは町道1522号線筑西幹線道路関係で約800万円の増などによりまして、全体では昨年度より26%、1億6,089万7,000円の大幅増となっているところであります。

続きまして、県支出金におきましては、本年度予算額5億6,514万7,000円で、昨年度

より4.7%、2,508万6,000円の増となっております。概要につきましては、子ども手当県負担金6,104万円、安心子ども支援事業施設整備交付金1,306万5,000円、みどりが丘保育園改築事業、子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例交付金963万9,000円などが減るものの、子ども手当から児童手当に法改正というようなこともございますので、児童手当負担金が7,010万円及び県知事並びに参議院議員通常選挙の委託金2,373万4,000円等により増額となっております。

続きまして、財産収入につきましては、700万2,000円でございます。昨年度より13%、104万7,000円の減につきましては、基金利子等の減によるところであります。

次に、歳入、繰入金につきましては、財源不足等への対応といたしまして、財政調整基金1億9,700万円及び義務教育整備基金繰入金5,800万円、合わせまして2億5,500万円を計上してございます。

23年度に財政調整基金に繰り入れをいたしました復興まちづくり支援事業交付金1億2,400万円のうち7,700万円を今回活用いたしまして、先ほども申し上げましたが、消防車1台の更新、消防詰所2カ所の改築、防災行政無線屋外子局増設等をいたします。

また、義務教育施設整備基金の繰り入れにしましては、八千代第一中学校校舎改築事業に充当いたします。

続きまして、繰越金につきましては、昨年度と同額の1億5,300万円を計上いたしました。

次に、諸収入につきましては1億5,792万円であります。昨年度より4.4%、725万7,000円の減となっております。主なものといたしましては、学校給食費個人負担金、雑入、雑入の中には下妻広域事務組合への職員の派遣の負担金などが入ってございます。

続きまして、町債につきましては7億7,549万6,000円で、昨年度より44.2%、2億3,750万円の大幅増となっております。この内訳につきましては民生事業費520万円、農業債510万円、臨時財政対策債270万円などが昨年度より減りましたけれども、道路橋梁債940万円並びに中学校債2億4,110万円等の増により、昨年度より大幅増となっております。

以上が歳入の概要でございます。

また、予算書の6ページに戻りますけれども、6ページには第2表、継続費といたしまして、八千代第一中学校校舎改築解体事業費を掲載してございます。

また、7ページには業務委託等の第3表、債務負担行為の一覧を掲載してございます。

さらに、8ページには第4表、地方債で起債事業の一覧となっておりますので、ご覧おきいただきたいと存じます。

続きまして、歳出の主なものについてご説明をいたします。予算書の添付資料といたしまして、平成25年度の予算関係資料、一般会計という、このようなものがございまして、これを見ていただければと思います。

資料ナンバー1の予算関係資料の5ページをお開きください。5ページには歳出性質別の内訳の説明となっております。

まず、義務的経費の一つでございます人件費につきましては、合計で13億5,220万円となっております。昨年より6.9%、1億68万6,000円の減というようにございまして。定員削減及び特別会計職員の当該会計予算への人件費の計上、それらによりまして職員給、共済組合等負担金などが減というように大きな要因の一つでございます。

続きまして、この表の中段以降にございますが、義務的経費の扶助費についてご説明をさせていただきます。扶助費の合計につきましては、12億5,198万8,000円でございます。対前年度比5.2%、6,221万3,000円の増となっているところでございます。この内訳としましては、保育所運営委託金1,824万9,000円、医療福祉費953万3,000円、障害者自立支援給付費及び自立支援医療給付費2,145万円などが増となっているところでございます。

次に、下のほうに行きまして、公債費の欄がございまして、ご覧おきいただきたいと思っております。公債費につきましては、借入金の返済となっております。今年度の当初予算額につきましては、6億9,606万4,000円であります。昨年度より1.4%、1,014万7,000円の減となっております。この内容につきましては、臨時財政対策債2,091万6,000円、補正予算債628万5,000円及び土木債248万6,000円等につきましては、元利金等ともふえているような状況があるものの、農林業債336万3,000円、教育債3,493万9,000円等の元利金の減によるものでございます。合わせまして1,000万円弱の減というように状況にございます。

続きまして、上に戻っていただきまして、物件費でございますが、予算総額が9億2,580万7,000円であります。昨年度より2.8%、2,506万2,000円の増となっております。主な項目を申し上げますと、需用費では学校施設修繕料、一中、東中等の施設の改修あるいは電気料等の値上げに伴います光熱水費の増などによりまして564万2,000円、また備品購入費では給食センターのコンテナ車1台並びに選挙関係の機器購入等によりまし

て895万6,000円の増、委託料ではゆれやすさマップ作成業務並びに各種予防接種委託料等によりまして418万円の増となっております。

続きまして、また下にまいりまして、維持補修費につきましては、予算総額が1,813万1,000円であります。昨年度より7.2%、140万円の減となっております。庁舎等の施設並びに道路維持補修、さらには防火貯水槽の補修というようなことで計上させていただきました。

続きまして、下から2段目の繰出金でございますけれども、各特別会計の繰出金となっております。今年度予算総額につきましては、8億9,539万5,000円でございます。昨年度より10.8%、8,750万5,000円の増となっております。内訳につきましては、国民健康保険特別会計に2,827万3,000円、介護保険特別会計に4,093万3,000円、後期高齢者医療特別会計に903万9,000円、下水道事業特別会計で800万円などがそれぞれ増額というようなことになってございます。

また、農業集落排水事業並びに中央土地区画整理事業特別会計につきましては、若干の増減はありますけれども、昨年とほぼ同額というような計上をさせていただきました。

続きまして、中段から少し下でございます補助費でございますが、11億2,264万1,000円でございます。昨年度より2,163万5,000円、1.9%の減となっております。主なものといたしましては、下妻地方広域事務組合負担金3,064万5,000円、この金額については、グリーンパークの施設整備事業というようなことで、一部返済が完了してございますので、削減並びに後期高齢医療給付負担金1,011万8,000円等の減によるものでございます。

続きまして、その下の普通建設事業費につきましてご説明を申し上げます。今年度予算総額が9億7,562万9,000円、対前年度比3億6,888万9,000円、60.8%の増というようになります。

平成25年度の事業につきましては、資料の6ページ、さらには7ページに主な事業の一覧がございますので、お開きをいただければと思います。昨年度より60.8%の増の要因としましては、民生費関係では社会福祉施設整備費の補助金606万円の増、この金額については、特養ホームの錦荘へ充当するものでございます。

さらに認定こども園施設整備事業費補助金1,300万円増、ひかり幼稚園の改修事業に充当いたします。

衛生費関係につきましては、再生可能エネルギー導入事業3,150万円など、学校あるいは公共施設等への太陽光発電設備の設置というようになります。

保健センター母子保健設備の設置並びに診療所合併浄化槽の撤去事業につきましては348万1,000円の増を計上させていただきました。

また、農林業関係につきましては、グリーンビレッジ改修事業278万7,000円を計上させていただきます。これにつきましては、コテージの屋根の改修等が予定されているところでございます。

土木関係につきましては、二級町道3号線道路改良事業229万7,000円、粕礼地内となっております。

町道1522号線筑西幹線道路の整備事業債につきましては、2,500万円の増ということになります。

消防関係では、消防分団詰所改築事業3,720万円、先ほども申し上げましたが、第3分団、第5分団の詰所となります。

防災行政無線子局の増設事業が1,942万8,000円、町内に数カ所増設ということになります。

教育関係では、八千代第一中学校の校舎改築事業3億8,200万円を増額ということになってございます。

また、24年度から25年度にマイナス、事業等が減というようなことも含めまして、事業減の計上でございますけれども、総務費関係では交番用地の購入事業が24年度をもって終了いたしますので1,500万円の減、民生費関係では安心こども支援事業施設、私立の保育園の整備事業ですが、24年度、安静保育園、25年度がみどりが丘保育園の整備をするところでございますが、1,959万8,000円の減、農林費の農林業の関係につきましては、憩遊館の温泉揚湯ポンプ改修事業が終了いたしましたので、1,425万4,000円の減、さらには中結城及び下結城地区の県営畑地帯総合整備事業改良事業が合わせまして1,615万5,000円の減というような形になってございます。

さらに、土木関係では、一級町道2号線、8号線改良事業費が2,381万4,000円の減、二級町道2号線道路改良事業費1,300万円の減となっております。二級町道2号線については、瀬戸井地内を終了したというような形になります。

消防費、消防関係では、消防ポンプ車更新事業1,774万5,000円の減でございます。24年度は2台の更新、25年度が1台の更新というようなことで減額になってございます。

教育関係につきましては、給食センター施設改修事業787万5,000円が減となっております。これにつきましては、重油等の屋外タンクの改修が昨年度実施されましたが、

今年度なくなったというようなことで、減になります。合わせまして、総額で対前年度比60.8%の増というような状況でございます。

続きまして、次の8ページをお開きいただければと思います。各特別会計の平成19年度から25年度当初予算におきます繰出金及び一部事務組合等の負担金の状況となっておりますので、ご覧おきをいただきたいと思います。

9ページをご覧いただければと思います。基金残高の推移となっております。24年度の最終予算見込額が財政調整基金を初めといたしまして、特定目的基金、定額運用基金を含めまして23億8,900万4,000円の見込みでございます。

また、25年度当初予算に財政調整基金及び義務教育施設整備基金から合わせまして2億5,500万円の取り崩しを計上してございます。

続いて、10ページ以降につきましては、一般会計の記載残高の内訳となっております。12ページに最終合計が載っておりますので、ご覧をいただければと思います。24年度の借り入れ見込み額を含めました残高につきましては63億2,347万5,000円となっております。

また、八千代町全体でございますけれども、平成24年度見込み額で一般会計と特別会計を合わせました起債の残高につきましては120億3,107万2,000円となるところでございます。

参考までに申し上げますと、一般会計の対前年度比6.0%増となっているところでありますが、各特別会計を合計いたしました25年度の予算総額につきましては65億3,596万6,000円、対前年度比14.1%の増となっております。

また、一般会計、特別会計7会計を含めました八千代町全体の予算総額につきましては137億9,796万6,000円、対前年度比12億2,073万円の9.7%増というような状況でございます。

以上、一般会計予算の概要について説明をいたしました。ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

議長（水垣正弘君） 次に、議案第24号、議案第25号の予算概要について、町民課長の説明を求めます。

横島町民課長。

（町民課長 横島広司君登壇）

町民課長（横島広司君） それでは、議案第24号 平成25年度八千代町国民健康保険特

別会計予算及び議案第25号、平成25年八千代町後期高齢者医療特別会計予算についてご説明いたします。

内容に入る前に、国の動向についてご報告させていただきます。国民健康保険については、平成24年度までの暫定措置とされておりました70歳から74歳までの被保険者1割負担につきましては、25年度も延長されることになりました。また、保険財政共同安定化事業、保険者支援制度などの基盤強化策も延長されているところでございます。

それでは初めに、国民健康保険特別会計予算の概要について、資料2によりご説明させていただきます。1ページをご覧くださいと思います。本年度の予算総額でございますが、歳入歳出それぞれ28億1,911万2,000円とするものです。前年度と比較しますと3%、8,300万6,000円の増額となっております。

歳入から申し上げます。本年度予算額と比較増減の欄をご覧くださいと思います。款1国民健康保険税ですが、7億9,297万2,000円で、前年度より2.1%、1,740万4,000円減額となっております。これは、地域経済の冷え込みによる低所得者層の増加などによる課税所得などの減少を見込んだものでございます。

款2一部負担金、款3使用料及び手数料につきましては、座敷のみの計上となっております。

款4国庫支出金につきましては、8億9,911万1,000円で、前年度と比べ1.2%、1,067万1,000円の増額となりまして、歳出の保険給付費、後期高齢者支援金などの増額によるものでございます。

次に、款5療養給付費等の交付金ですが、8,406万6,000円で、前年度より6.5%、516万7,000円の増額で、退職被保険者の増加によるものでございます。

款6前期高齢者交付金につきましては、1億9,006万1,000円で、前年度より13.7%、3,029万5,000円の減額でございます。65歳から74歳までの被保険者数の偏在による保険者間の医療費及び後期高齢者支援金の負担の不均衡を調整するための制度でして、国の関係機関であります社会保険診療報酬支払基金の推計に基づいて計上しております。

次に、款7県支出金ですが、2億2,059万円で、前年度より16.1%、3,053万3,000円の増額でございます。これは、国庫支出金と同様に、歳出の保険給付費、後期高齢者支援金などの増額によるものです。

款8共同事業交付金につきましては、高額医療にかかわるものでして、3億7,933万円で、前年度より10.4%、3,583万4,000円を計上しており、県国保連合会からの推計に基

づき計上しております。

次の款9財産収入につきましては、基金積立金利子で、座敷のみの計上でございます。

款10繰入金につきましては、一般会計などからの繰り入れでして1億9,604万4,000円、前年度より16.9%、2,827万3,000円の増額でして、職員の人件費を繰り入れたことによるものでございます。

次の款11繰越金は前年度繰越金でして、5,000万円、前年度より2,000万円を増額しております。

款12諸収入は693万4,000円で、前年度より22万7,000円の増額でございます。これは、特定健康診査等の負担金が前年までの実績等により増額となるものでございます。

続きまして、歳出について申し上げます。款1総務費ですが、3,603万9,000円で、前年度より2,408万3,000円の増額でございます。職員4名の人件費を計上したことによるものです。

款2保険給付費は16億4,632万1,000円で、前年度より813万8,000円を増額しております。これは、療養給付費や高額療養費などの過去の実績により増額したものでございます。

次に、款3後期高齢者支援金等ですが、4億8,319万7,000円で、前年度より894万3,000円の増額となります。

款4前期高齢者納付金等につきましては、57万6,000円を計上いたしました。

款5老人保健拠出金ですが、前年度と同額の25万1,000円となり、老人保健から後期高齢医療への移行に伴う平成19年度以前の精算分でございます。

次に、款6介護納付金につきましては、社会保険診療報酬支払基金への納付金でして、前年度と同額の2億1,112万2,000円となっております。なお、款3から款6につきましては、社会保険診療報酬支払基金の推計に基づき計上しております。

款7共同事業拠出金でございますが、4億712万3,000円で、前年度より10.9%、4,004万2,000円の増額でございます。これは、保険財政共同安定化事業の拠出金でして、茨城県国保連合会で算出したものを計上しております。

款8保険事業費につきましては、1,987万7,000円で、179万9,000円の増でございます。これは、主に特定健康診査事業費の委託料でして、前年度までの実績などに基づき算定いたしました。

款9基金積立金は座敷のみの計上でございます。

款10諸支出金につきましては、460万5,000円を計上しましたが、保険税の過誤納還付金が主なものでございます。

次の款11予備費につきましては、昨年と同額の1,000万円でございます。

以上が歳入歳出予算の概要となっております。

なお、下の円グラフにつきましては、歳入歳出予算額の構成比率を示したものです。

次の2ページにつきましては、平成15年度から25年度までの一般被保険者と退職被保険者の療養費及び保険税の推移をあらわしたものです。

3ページにつきましては、平成19年度から25年度までの保険税の賦課割合状況と平成21年度から25年度までの被保険者の推移をあらわしております。後ほどご覧いただきたいと思えます。

以上が平成25年度八千代町国民健康保険特別会計予算の概要でございます。

続きまして、平成25年度八千代町後期高齢者医療特別会計の概要について、資料の3によりご説明いたします。

まず、1ページをご覧いただきたいと思えます。本年度の予算総額につきましては、歳入歳出それぞれ1億5,839万9,000円とするものでして、前年度より4.4%、673万8,000円の増額となっております。

まず、歳入から申し上げます。款1後期高齢者医療保険料につきましては、9,500万1,000円、2.4%、230万円の減額となります。

款2使用料及び手数料につきましては、座敷のみを計上しております。

款3繰入金につきましては、5,815万8,000円を計上いたしました。前年度より18.4%、903万8,000円の増額となっております。これは、職員の人件費を繰り入れたことにより大幅に増額となったものでございます。

款4繰越金につきましては、前年度と同額の100万円で、前年度の繰越金でございます。

款5諸収入につきましては、前年度と同額の423万9,000円を計上しております。なお、項4の雑入につきましては、健康診断のための保険事業委託金でございます。

続きまして、歳出についてご説明申し上げます。款1総務費ですが、1,266万8,000円で、前年度より812万9,000円を増額しておりますが、職員1名分の人件費を計上したことによるものでございます。

款2後期高齢者医療広域連合納付金は、1億4,373万円でして、前年度より1.0%、139万1,000円の減額でございます。

款3 諸支出金は、前年と同額の100万1,000円で、保険料還付金などでございます。

款4 予備費につきましては、100万円を計上いたしました。なお、下の円グラフは、歳入歳出予算の構成比率を示したものです。

2 ページにつきましては、自己負担を外来、入院、食事、高額の治療を長期間続けるときの区分により示しております。

3 ページにつきましては、保険料確定賦課結果の内訳及び被保険者の推移をあらわしております。後ほどご覧いただきたいと思っております。

以上、平成25年度八千代町国民健康保険特別会計予算及び八千代町後期高齢者医療特別会計予算の概要を申し上げましたが、ご審議のほどよろしくお願いいたします。

議長（水垣正弘君） 次に、議案第26号の予算概要について、福祉保健課長の説明を求めます。

生井福祉保健課長。

（福祉保健課長 生井勝巳君登壇）

福祉保健課長（生井勝巳君） それでは、議案第26号 平成25年度八千代町介護保険特別会計予算関係の概要についてご説明申し上げます。

お手元に配付してあります資料ナンバー4、平成25年度八千代町介護保険特別会計予算関係資料をご覧ください。保険給付費を中心とした保険事業勘定及び地域包括支援センターのサービス計画収入を主なものとする介護サービス事業勘定の予算でございます。

まず、保険事業勘定から主なものについてご説明申し上げます。1 ページの表1、総括表をご覧ください。歳入歳出予算総額は15億321万4,000円となります。前年度予算と比較しますと9,151万5,000円の増額となります。

歳入ですが、款1の保険料が2億8,605万円で、前年比1.6%の増となります。これは、高齢者人口の増加、そして第5期老人福祉計画により見込んだものでございます。

款3の国庫支出金が3億5,765万9,000円で、前年比7.1%の増となります。

款4の支払基金交付金が4億898万5,000円で、前年比5%の増となっております。

款5の県支出金が2億1,102万7,000円で、前年比1.5%の増となっております。

款7の繰入金金が2億3,493万5,000円で、前年比21.1%の増となります。これは、人件費が一般会計から介護保険特別会計に振りかえになったためであります。

款8の繰越金は、前年度からの繰り越し見込額451万5,000円で、前年比3.3%の減となります。

次に、歳出でございますが、款1の総務費が5,393万6,000円で、前年比3倍増となりますが、歳入の繰入金で説明いたしましたように、人件費が振りかえとなったためでございます。

款2の保険給付費が14億1,400万1,000円で、前年比4%の増となりますが、これは主にサービス利用の増加を見込んでございます。

款4の地域支援事業費は、3,071万9,000円で、前年比2.5%の増となっております。

款7の諸支出金は5万5,000円で、15万5,000円の減となっております。

款8の予備費については450万円で、前年と同額でございます。

以上が歳入歳出の合計が15億321万4,000円で、前年度14億1,169万9,000円に対して6.5%の増となっております。

下の円グラフでございますが、歳入歳出の構成比についてあらわしたものでございます。まず、歳入の一番大きいものが支払交付金でありまして、全体の27.2%を占めてございます。次に大きいのが国庫支出金、23.8%、以下、保険料が19%、繰入金が15.7%、県支出金が13.8%、繰越金が0.3%となっております。

歳出ですが、一番大きいのが保険給付費で全体の94.1%、以下地域支援事業費が2%、総務費が3.6%、予備費が0.3%となっております。

次に、2ページをご覧ください。表2は、保険給付費について平成21年度から23年度までの決算、24年度見込み、25年度予算の推移でございます。平成21年度決算から25年度の予算を比較しますと、18%の増となっております。なお、平成21年度より高額医療合算介護が創設されてございます。

表3は、地域支援事業費の推移でございます。

次に、3ページをご覧ください。表4はサービスの利用状況でございます。居宅サービスの利用者が伸び、施設サービスの中では特別養護老人ホームの利用者が大きく伸びてございます。

表5は、第1号被保険者の保険料月額の内訳でございます。第1期から第4期までは微増となっておりますが、第5期計画からの見直しでは、基準額が大幅な伸びとなっております。

次に、4ページをご覧ください。表6ですが、保険料収入の徴収区分別推移ですが、特別徴収が伸び、普通徴収は減となっておりますが、全体的には増となっております。

表7ですが、平成25年度保険料収入を見込むに当たって、所得段階別内訳ですが、基

準となる第4段階が50%を超える構成となっております。

表8は、介護給付費準備基金の積立額の推移でございます。

次に、5ページをご覧くださいと思います。表9は介護度別認定者の推移でございます。

表10は、介護予防に係るサービス事業勘定に関する総括表でございます。歳入歳出総額は716万1,000円でございます。

歳入ですが、款1のサービス収入が696万円で、前年比15%増は介護予防支援サービス計画収入でございます。

款2の繰越金は、前年と同額の20万円を見込んでございます。

歳出につきましては、款1の事業費は691万1,000円で、介護予防サービス計画作成委託料の支出でございます。

款2の諸支出金は20万円で、保健事業勘定への繰出金でございます。

款3の予備費は5万円でございます。

以上が平成25年度介護保険特別会計予算の概要説明でございます。ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

議長（水垣正弘君） 次に、議案第27号の予算概要について、都市建設課長の説明を求めます。

上野都市建設課長。

（都市建設課長 上野真一君登壇）

都市建設課長（上野真一君） 議案第27号、八千代中央土地区画整理事業特別会計予算の概要についてご説明いたします。

お手元の資料ナンバー5をご覧ください。平成25年度歳入歳出予算につきましては、それぞれ3億422万円で、前年と比較しまして1億6,262万円の増、対前年比214.8%となっております。

それでは、まず歳入の主なものを説明させていただきます。項1事業収入は3,518万3,000円で、前年度と比較いたしまして31万7,000円の減、対前年比99.1%です。これは、保留地処分金でありまして、4区画の処分を見込んでおります。また、分割納入分といったしまして、既に売れております10区画分を予定してございます。

項の2国庫支出金は1億773万7,000円で、前年度と比較いたしまして1億3万7,000円の増、対前年比で1399.2%になります。これは、第2工区が24年度から国庫補助の対象

となりましたので、その対象事業費の55%を計上したものであります。

項3繰入金7,999万8,000円で、前年度と同額でありまして、一般会計からの繰入金であります。

項6町債7,930万円で、前年度と比較いたしまして6,290万円の増、対前年比で483.5%です。これは、区画整理事業の事業債を借り入れるものでありまして、工事費、補償費等の起債対象事業費の90%を計上してございます。

以上が歳入の概要でございます。

次に、歳出の主なものについてご説明をいたします。項1総務費は1,501万9,000円で、前年度と比較しまして374万7,000円の減、対前年比80%です。総務費は、職員2人の人件費が主なものであります。

項2第1工区区画整理事業費4,635万9,000円と、項3第2工区区画整理事業費2億363万2,000円は、前年度と比較いたしまして1億6,402万9,000円の増、対前年比290.8%です。本年度は、家屋物件算定業務、家屋移転、工作物の移転補償、都市計画道路や区画道路の築造及び整地工事等を実施するものでございます。詳しい事業概要につきましては、裏面に記載してございますので、よろしくお願いをしたいと思います。

項4公債費3,721万円で、前年度と比較いたしまして233万8,000円の増、対前年比106.7%でございます。公債費は、借入れの長期債元金と利子の償還分でございます。

裏面の円グラフは、歳入歳出の構成比をあらわしたものでありますので、ご覧をいただければと思います。

以上が八千代中央土地区画整理事業特別会計予算の主な概要でありますので、よろしくご審議をお願いしたいと思います。

以上です。

議長（水垣正弘君） 次に、議案第28号、議案第29号、議案第30号の予算概要について、上下水道課長の説明を求めます。

幸田上下水道課長。

（上下水道課長 幸田裕之君登壇）

上下水道課長（幸田裕之君） それでは、議案第28号 平成25年度八千代町農業集落排水事業特別会計予算、議案第29号 平成25年度八千代町下水道事業特別会計予算、議案第30号 平成25年度八千代町水道事業会計予算の概要についてご説明いたします。

初めに、お手元に配付してある資料ナンバー6、八千代町農業集落排水事業特別会計

予算をご覧ください。平成25年度の歳入歳出は、ともに7億8,789万5,000円で、前年に比較して4億6,438万7,000円の増額となります。対前年比243.5%でございます。

歳入の主な増額については、中結城東部地区の分担金、国庫支出金、町債などであり、ます。歳出の主な増額は、管理費で、施設管理委託料、事業費で中結城東部地区の工事請負費などであり、ます。主な工事は、管路施設工事を補助事業で工事延長6,630メートル、単独事業で工事延長1,400メートルについて整備をする計画であります。

それでは、最初に歳入の主なものについてご説明いたします。科目1分担金及び負担金5,215万2,000円で、前年度と比較して4,310万円の増、対前年比576.1%です。これは、中結城東部地区の分担金と既に供用を開始しています地区の新規加入分であります。

科目2使用料及び手数料6,509万8,000円で、前年度と比較して3万円の減、対前年比99.9%です。これは、現在までに供用を開始している12施設の使用料であります。

科目3国庫支出金2億3,300万円で、前年度と比較して1億9,815万5,000円の増、対前年比668.6%です。これは、中結城東部地区の補助金であります。

科目4県支出金1,785万5,000円で、前年度と比較して342万5,000円の減、対前年比83.9%です。これは、地方債の償還に要する財源として、年度ごとの国庫事業費の2%ずつ5年間交付され、農業集落排水事業推進交付金として計上しています。

科目6繰入金1億3,657万2,000円で、前年度と比較して857万2,000円の増、対前年比106.6%です。これは、一般会計から1億1,626万円、農業集落排水事業基金から731万2,000円及び町債償還準備基金から1,300万円の繰入金であります。

科目7繰越金200万円で、昨年と同額であり、前年度からの繰り越し見込額です。

科目8諸収入31万6,000円で、前年度と比較して31万5,000円の増。これは、福島原発事故賠償金であります。

科目9町債2億8,090万円で、前年度と比較して2億1,770万円の増、対前年比444.4%です。これは、中結城東部地区の通常債2億6,140万円、中野、苧橋地区の通常債150万円、資本費平準化債1,800万円であります。

以上が歳入の概要でございます。

次に、歳出の主なものについてご説明いたします。科目1農業集落排水事業管理費9,823万7,000円で、前年度と比較して487万8,000円の増、対前年比105.2%です。主なものでは、供用を開始している12処理施設の維持管理で、需用費の光熱費、施設の老朽化等による修繕料、役務費の汚泥引き抜き料、施設管理委託料と町債償還準備基金積立金

であります。

科目2 農業集落排水事業費 5億6,005万8,000円で、前年度と比較して4億6,698万1,000円の増、対前年比601.7%です。主に職員の人件費、中結城東部地区の処理施設適合審査、工事監理、実施計画、処理施設全体設計委託料、管路施設工事請負費、補償費などであります。

科目3 公債費 1億2,760万円で、前年度と比較して747万2,000円の減、対前年比94.4%です。これは、長期債元金及び利子の償還金であります。

科目4 予備費については、前年と同額の200万円を計上しています。

裏面に歳入歳出の構成比及び中結城東部地区事業の概要がありますので、後でご覧おき願います。

以上が八千代町農業集落排水事業特別会計予算の主な概要であります。

続きまして、お手元に配付してある資料ナンバー7、八千代町下水道事業特別会計予算をご覧ください。平成25年度の歳入歳出は、ともに3億8,048万8,000円で、前年に比較して2,426万7,000円の増額となります。対前年比106.8%でございます。

歳入の主な増額については、国庫支出金、繰入金、町債などであります。歳出の主な増額は、総務費の委託料、事業費の工事請負費、鬼怒小貝流域下水道事業の建設負担金、公債費の長期債元金償還金などであります。主な工事は、公共地区では中央区内、工事延長253メートル、特環地区では露田、東露田地内、工事延長615.8メートルについて整備をする計画であります。

それでは、最初に歳入の主なものについてご説明いたします。科目1 分担金及び負担金859万1,000円で、前年度と比較して258万3,000円の増、対前年比142.9%です。これは、平成25年度に供用開始となります地区と分割納付による受益者負担金であります。

科目2 使用料及び手数料1,721万2,000円で、前年と比較して107万1,000円の増、対前年比106.6%です。これは、主に使用料であります。

科目3 国庫支出金5,180万円で、前年と比較して660万円の増、対前年比114.6%です。これは、社会資本整備総合交付金であります。

科目6 繰入金 2億1,488万3,000円で、前年と比較して751万3,000円の増、対前年比103.6%です。これは、一般会計から2億1,000万円及び下水道事業基金から488万3,000円の繰入金であります。

科目7 繰越金100万円で、昨年と同額であり、前年度からの繰り越し見込額です。

科目 9 町債8,700万円で、前年と比較して650万円の増、対前年比108%です。これは、公共下水道事業2,130万円、特定環境保全公共下水道事業3,820万円、流域下水道事業180万円、資本費平準化債2,570万円であります。

次に、歳出の主なものについてご説明いたします。科目 1 下水道総務費6,008万6,000円で、前年度と比較して769万7,000円の増、対前年比114.6%です。主に職員の人件費、報償費、委託料及び各種負担金などであります。

科目 2 下水道管理費4,547万7,000円で、前年度と比較して287万円の増、対前年比106.7%です。主なものでは、流量計及びマンホールポンプ管理委託料、鬼怒小貝流域下水道維持管理負担金などあります。

科目 3 公共下水道事業費 1 億1,151万8,000円で、前年度と比較して154万3,000円の増、対前年比101.4%です。主なものでは、実施設計委託料、工事請負費、補償費などあります。

科目 4 流域下水道事業費497万4,000円で、前年度と比較して475万9,000円の増、対前年比2313.4%です。鬼怒小貝流域下水道事業建設負担金であります。

科目 6 公債費 1 億5,743万2,000円で、前年度と比較して739万8,000円の増、対前年比104.9%です。これは、長期債元金及び利子の償還金であります。

科目 7 予備費については、前年と同額の100万円を計上しています。

裏面に歳入歳出の構成比及び町公共下水道事業、県事業の鬼怒小貝流域下水道事業の概要がありますので、後でご覧おき願います。

以上が八千代町下水道事業特別会計の予算の主な概要であります。

続きまして、お手元に配付してある資料ナンバー 8、平成25年度水道事業会計予算をご覧ください。平成25年度水道事業会計予算の概要についてご説明いたします。

1 ページをお開きください。2 の平成25年 1 月31日現在の給水状況であります。給水件数5,626件、給水人口 2 万1,309人、給水率90.1%になっています。

2 ページをお開きください。平成18年度から平成25年度における水道事業会計予算の推移状況であります。

3、4 ページをお開きください。水道事業企業債明細書であります。発行総額12億440万円に対し、未償還高は 4 億3,465万7,040円あります。

5 ページをお開きください。平成25年度水道事業会計予算総括表をご覧ください。3 条予算においては、収入では給水収益及び雑収益などの増、支出では原水費、浄水費及

び消費税などの増、配水費、資産減耗費及び企業債利息等が減になっております。

収入については、1の営業収益は3億9,943万1,000円で、水道料金、量水器使用料、他会計負担金、加入金等などであります。

2の営業外収益は1,111万8,000円で、主に配水管布設替工事補償金等であります。

支出ですが、1の営業費用が3億4,494万2,000円で、内訳としましては原水費が8,987万1,000円で、主に県水の受水費、修繕費、動力費などであります。

浄水費は4,448万4,000円で、主に委託料、修繕費、動力費、薬品費などであります。

配水費は3,549万2,000円で、主に委託料、修繕費、動力費などであります。

総係費は6,775万7,000円で、主に事務費、職員の人件費、そして委託料の夜間警備業務、電算処理業務、検針業務などであります。

減価償却費は1億723万6,000円であります。

2の営業外費用が1,885万4,000で、内訳として企業債支払利息、消費税などでありませぬ。

3の予備費については、前年と同額の1,500万円を計上しています。

4条予算における資本的収入は、事業による起債等がなく、支出のみとなっております。

1の建設改良費が1,734万1,000円で、内訳としまして施設費は1,317万4,000円で、配水管布設工事、3号取水井ポンプ更新工事、次亜タンク更新工事などであります。

資産購入費は416万5,000円で、量水器、発電機購入などあります。

2の企業債償還金は1億4,758万7,000円で、企業債元金であります。

なお、資本的収入の不足分については、当年度分損益勘定留保資金及び減債積立金で補填するものであります。

6ページは3条予算の収益的収入・支出、営業関係、7ページは4条予算の資本的支出、建設関係を円グラフであらわしたものです。後でご覧おき願います。

以上が平成25年度の八千代町農業集落排水事業特別会計予算、八千代町下水道事業特別会計予算、八千代町水道事業会計予算の概要であります。よろしくご審議くださるようお願いいたします。

議長（水垣正弘君） 以上で各課長等の予算概要の説明を終わりました。

これから質疑を行います。

なお、本件は、関係の各常任委員会に付託する予定でありますので、質疑は簡潔にお願いいたします。

質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

議長(水垣正弘君) これでは質議を終わります。

議案第23号 平成25年度八千代町一般会計予算から議案第30号 平成25年度八千代町水道事業会計予算まで8件につきましては、お手元に配付の付託事項明細書のとおり、関係常任委員会に分割し、会議規則第46条第1項の規定によって、3月14日までに審査を終了するよう期限をつけて付託したいと思います。これにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(水垣正弘君) 異議なしと認めます。

よって、議案第23号 平成25年度八千代町一般会計予算から議案第30号 平成25年度八千代町水道事業会計予算まで8件につきましては、お手元に配付の付託事項明細書のとおり、関係常任委員会に分割し、3月14日までに審査を終了するよう、期限をつけて付託することに決定をいたしました。

日程第2 休会の件

議長(水垣正弘君) 日程第2、休会の件を議題といたします。

お諮りいたします。議事の都合により、あす8日から13日までは休会としたいと思います。これにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(水垣正弘君) 異議なしと認めます。

よって、あす8日から13日までは休会とすることに決定をいたしました。

議長(水垣正弘君) 次会は、14日午前9時から本会議を開きます。

本日はこれにて散会といたします。

(午前11時24分)